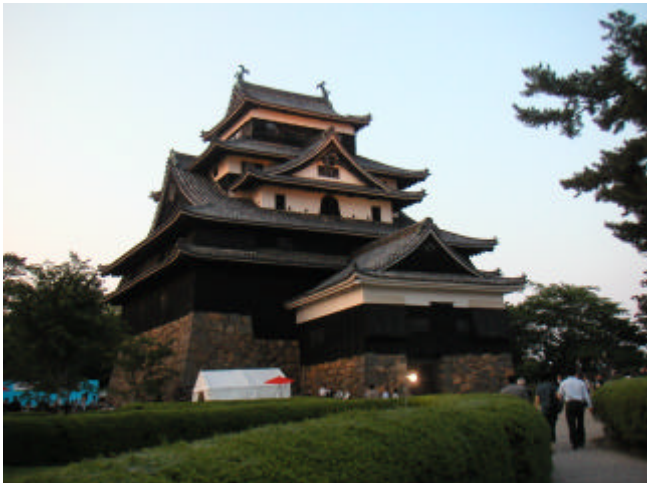


## 第23回宇宙技術および科学の国際シンポジウム

### 23<sup>rd</sup> International Symposium on Space Technology and Science(ISTS)

本誌編集委員 風神 裕

第23回宇宙技術および科学の国際シンポジウム(23<sup>rd</sup> International Symposium on Space Technology and Science(ISTS))が、2002年5月26日から6月2日まで、島根県松江市の島根県民会館及びくにびきメッセにて開催された。ISTSは隔年開催であるが、我が国最大規模の宇宙開発の国際学会である。本年度の参加登録者は757名、また、松江市は市長自らが先頭に立ち、ボランティア活動として一般市民に協力頂いた。橋の上には幟がたち、蕎麦屋に入っても「宇宙の偉い人たちが来ている」と思われたり、ボランティアの方々の熱の入り方には頭が下がりました。テクニカルツアーで美星町のデブリ観測センターを見学に行



大会会場のシンボルである松江城

きました。ここでは岡山県の方々に大変にお世話になりました。定休日にもかかわらず、施設を開けて頂く等、種々の御協力を頂きました。論文発表は県民会館にて行われ、投稿論文は500件を超え、一日100件以上の発表が行われたことになる。非常に盛会であった。

展示会場は、県民会館から少し離れた「くにびきメッセ」に設けられた。県民会館との間をシャトルバスが約20分間隔で運行、参加者の便宜を計った。展示会場への訪問者は延べ10,000人を超え、島根県内外の小学生から大学生を中心に多くの青少年が参加、最先端の科学技術である「宇宙」、未知の世界である「宇宙」分野にふれることで、「夢」や「未来」が思い描け、科学教育振興や青少年健全育成につながる事が出来た。ま

展示会場は、県民会館から少し離れた「くにびきメッセ」に設けられた。県民会館との間をシャトルバスが約20分間隔で運行、参加者の便宜を計った。展示会場への訪問者は延べ10,000人を超え、島根県内外の小学生から大学生を中心に多くの青少年が参加、最先端の科学技術である「宇宙」、未知の世界である「宇宙」分野にふれることで、「夢」や「未来」が思い描け、科学教育振興や青少年健全育成につながる事が出来た。ま



展示会場の様子



宇宙図画コンクール作品展示

害への国際協力プログラム、成層圏プラットフォームフォームまでカバーし、海外からの8件、国内から6件の発表があり、活発な質疑応答が交わされた。産業界からシンポジウムへの十分な寄与ができたのではないかと考える。

次回第24回 ISTS は2004年5月に宮崎市で開催される予定。

た、宇宙図画コンクールには島根県内から約1,900点の応募があり、最優秀賞と特別賞が会場内に併設展示された。数多くの夢のある作品が展示されていた。また、連日先生に引率された小中学生の若々しいエネルギーには圧倒されました。

下名がチェアマンを分担した Space Commercializationのセッションは、衛星、各国ロケット、セキュリティ問題、NASAのCommercializationの状況、災



筆者(左)と遠山編集委員(右)